

## 第2回千曲市特別職報酬等審議会会議録（概要）

日時 平成25年7月16日（火）午前9：30～11：20

場所 千曲市役所更埴庁舎 議会第2委員会室

### 1 開 会

2 会長あいさつ 滝沢会長

3 自己紹介（前回欠席者が多かったため改めて行う。）

### 4 審議事項

#### （1）追加資料の説明

質疑 財政力指数とは何か。

回答 地方自治体の財政力を示す指標。

地方交付税算定の基礎となる、基準となる需要額に対し基準となる収入額がどの位あるかを示すもので、この数字が大きいほど財政力が強い。1を超えると普通交付税が交付されないが、長野県内では軽井沢町のみ。

#### （2）市議会議員の報酬の額について

#### （3）市議会議員の政務活動費について

#### （4）市長・副市長の給料の額について

関連があるため、（2）（4）を一括して審議する。

質疑 市長・副市長等の給与について、いつから減額しているか。

回答 現行の額になったのは平成17年度から。但し、それ以前から（平成15年12月から）減額はしている。

質疑 減額については、審議会を通して行ったものか。

回答 減額については審議会を通してはいない。市長の決裁で独自に行ったもの。

意見 最近の例では、長野県が0.3%減額の答申を受けたが、知事自ら10数%下げるということで議会に提案している。

議会も議長が提案して10%抑制しようということになった。

質疑 東日本大震災に関連して、公務員給与引下げについての千曲市の対応は。

回答 国は昨年度から2年間、時限的に引き下げているが、地方自治体に対しては本年7月から来年3月までの9ヶ月間を削減するよう求めてきている。

削減するには条例改正が必要であるが、千曲市においては6月議会での提案は見送り、各市の状況をみながら理事者と詰めており、現在の予定では10月から来年の3月までを削減したいということである。

ラスパイレス指数100であれば国と同水準ということであるが、千曲市の場合、国が引き下げる前の状況で96（引き下げた後の状況で104）であるので、引下げ額については、国を下回る水準となる見込みである。

質疑 県下の自治体の状況はどうか。

回答 現在承知している状況では、長野県は7月1日から実施した。

その他、小諸市、東御市、岡谷市、駒ヶ根市が、市では、19市中4市が実施した。

長野市が9月1日から、上田市が8月1日から実施する予定との情報は入ってきている。

上田市の場合は、国が引下げる前でも100を超えていたという状況があり、できるだけ早めにやりたいということであった。

他は、10月1日からと聞いている。

意見 近隣自治体が引き下げる、世論がそういうことであれば仕方がないことと思うが、千曲市としても額はともかくとして、国の方向に沿って引き下げることがよいのかどうか。

意見 一般職の職員の給与の引下げについては、今回の審議とは別次元の問題であるので、市民感情とか国との関係を踏まえて適切に判断し、老婆心ながら組合とも十分協議して実施してもらいたい。

しかし、この状況を見無視しては、特別職の報酬を議論するわけにはいかないということだと思う。

意見 民間の考え方であるが、支払い能力の問題があり、よその会社と比較しても仕方がない。

意見 支払能力という点からいえば、交付税はカットされたが、自治体の財源としてはいろいろなものがあるので違うものを充てることはできる。

給与の引き下げについては、判断の難しいところであるがやらざるを得ないであろう。いずれにしても長が判断すべきこと。

意見 報酬についてであるが、一般的に財政力が高い方が高い傾向にある。

意見 民間では歳入と歳出のバランスである。本音では上げてよいと思うが、国や県、他市の状況による。経済も上向いているというが不透明である。

意見 民間では、デフレだと定期昇給はやってもベースアップはやらない。インフレになればベースアップもある。

意見 県が引き下げているのに、千曲市はやらない、引き上げの方向というのはどうか。

意見 引上げる要素としては、1つは合併当時、在任特例をとったことから人口4万人弱であった更埴市の額に合わせ、在任特例が終わってから（引き上げを）考えればよいということであった。

しかし、その後一般職の給与は下がり続け、世の中全般がそうであった。類似団体と比べかなり低いので上げてよいと思うが、今の時期にできるかどうか。

もう1つは、景気は回復しつつあるということ。安倍内閣の方針として消費を増やしたいということがある。そのためには給料を上げないと。適正な額、世の中一般が考えている方向を出していかなくてはならない。

意見 上げてよいが、見えるような形で。理論的な裏付けはないが、長年抑制されてきているので考えるべきとき。

事務局 今回はカットされている部分ではなく、あくまでも本来の額について審議をお願いしたい。

本来の額をカットするかどうかについては、市長が政治姿勢として考えるべきものである。

質疑 裏返せば、引上げるのであれば、まず抑制額を少なくして、いい水準までに戻せばよいということになる。

共済の掛金や期末手当、退職手当はどうなるか。

回答 期末手当、退職手当については、カット前の本来の額で計算される。共済の掛金については、実際の支給額（カット後）で計算される。

意見 千曲市は、他と比べるとたしかに低いが、庁舎建設や新幹線新駅の問題を抱えているなかで、引上げるというのはどうか。

激務をこなしているなかで引上げてあげたいという気持ちはあるが。

新庁舎建設に引当金はどの位用意しているのか。新幹線新駅もどの位かかるのか。そういうことを市民はわかっていない。新駅については、賛成・反対が拮抗するなかで、上げるということになると相当批判が出てくるのではないか。

低いなかで更に下げるとするのは酷であるので、最低でも現状維持。最終的には市民の声も考慮して判断を。

意見 難しい問題であるが、額は別として、ある程度アップして、やる気をもってもらうということも考えないと。

現状維持も悪くはないが、この数字を見れば止むを得ないという声も出るのではないか。

意見 職員の場合は下げると質の低下を招く、優秀な人材が他に流れ

るということもあるが、特別職の場合はどうか。

広報し、市民に説明ができれば上げてよい。

質疑 抑制をやめたらどうかということと言えるのか。

意見 正式な答申書に書くというわけにはいかないのでは。議事録に残すとか、答申の際に口頭で伝えるということはよいと思うが。

事務局 残していただければ一考の余地はある。答申書の中に記載するか、しないかも含め調整していただければと思う。

(休憩)

意見 できれば少しでも上げたいところであるが、大きな課題を抱えている中で、家計も逼迫し、2,000円、3,000円をどうしようかというときなので、据え置きでという意見。

意見 一般職が引き下げられるというときではあるが、十分低いので現状維持で市民にも理解が得られるのではないか。

意見 私は県などが下げている状況のなかで、現状維持についても市民に説明できるかどうかという気持ちである。

意見 前回もそうであったが、説明はなかなか難しい。

どっちに決めるにしても、市民に説明できるだけの議論はしておきたい。

意見 感情論として、情勢から慎重にならざるを得ない。

意見 他は下げているが、平均と比べて低いことと、財政状況も考えて現状維持で。

まとめ 財政状況について何人かから質問も出ているので、次回は市の財政計画等についての資料提出と説明をお願いしたい。

政務活動費についても、時間の関係で次回の審議としたい。

本日審議いただいたまとめとしては、引下げは難しい。引上げるにしても、現状維持にしても市民に説明できるようにしたい。

次回は8月21日に予定されているが、次回はどちらかに方向付けをして、その理由を分かりやすく会議録に残るようにしたい。

また、事務局との打合せのなかで、特別職の退職手当の乗率についても話があったが、審議するか、しないかも含めて次回に方向を示して欲しい。

## (5) その他

次回開催日は、8月21日(水)午後1時30分より

会場 議会第1委員会室

## 5 閉 会